

民立
前橋市役所
会員登録

今報

まえはし

1月1日

昭和49年(1974年)

539号

発行・前橋市役所／編集・総務部秘書課／毎月1日・15日／昭和35年7月14日第3種郵便物認可(1部10円)

面舵取舵手もと狂わせず宜候にて



前橋市長 石井繁丸

皆様、明けましておめでとうございます。

昨年、私は「流れを強く大きくする」という題で、年頭の辞を書きました。その方針に基づき、建設的事業にしても、社会福祉にしても、積極的に実施してまいりました。日本経済の高度成長政策、つまり高走り政策が息切れしない場合は、出来得る限り積極的市政を——という方針でした。

日本の積極政策は、神武景気とか岩戸景気とか高天原景気とか、元気いっぱい、GNP世界第二位、アメリカを追い越すのはもうひと息だとなんばつてまいりました。

しかし、私のような年配になると、常にものには限度があると考えて、ものごとを判断する習慣があります。真珠湾で勝ち、シンガポールを陥落させ、インドネシアを制した折、日本軍は世界制覇は間近かだと信じていました。それから三年、刀折れ矢つき、無条件降伏をしたのです。私は軍曹としてインドネシアに上陸し、曹長で八丈島で無条件降伏をした経験があります。また、三度破竹の急で衆議院議員に当選し、三度落選した経験もあります。

昭和三十年から十数年続いた高走りの日本経済も、挫折の時がくるから、それを計算に入れて置かなければいかんというのは、私の人生経験が教えてくれるわけです。こんどの石油の禁油事件も、高走り放漫政策のもたらしたインフレです。

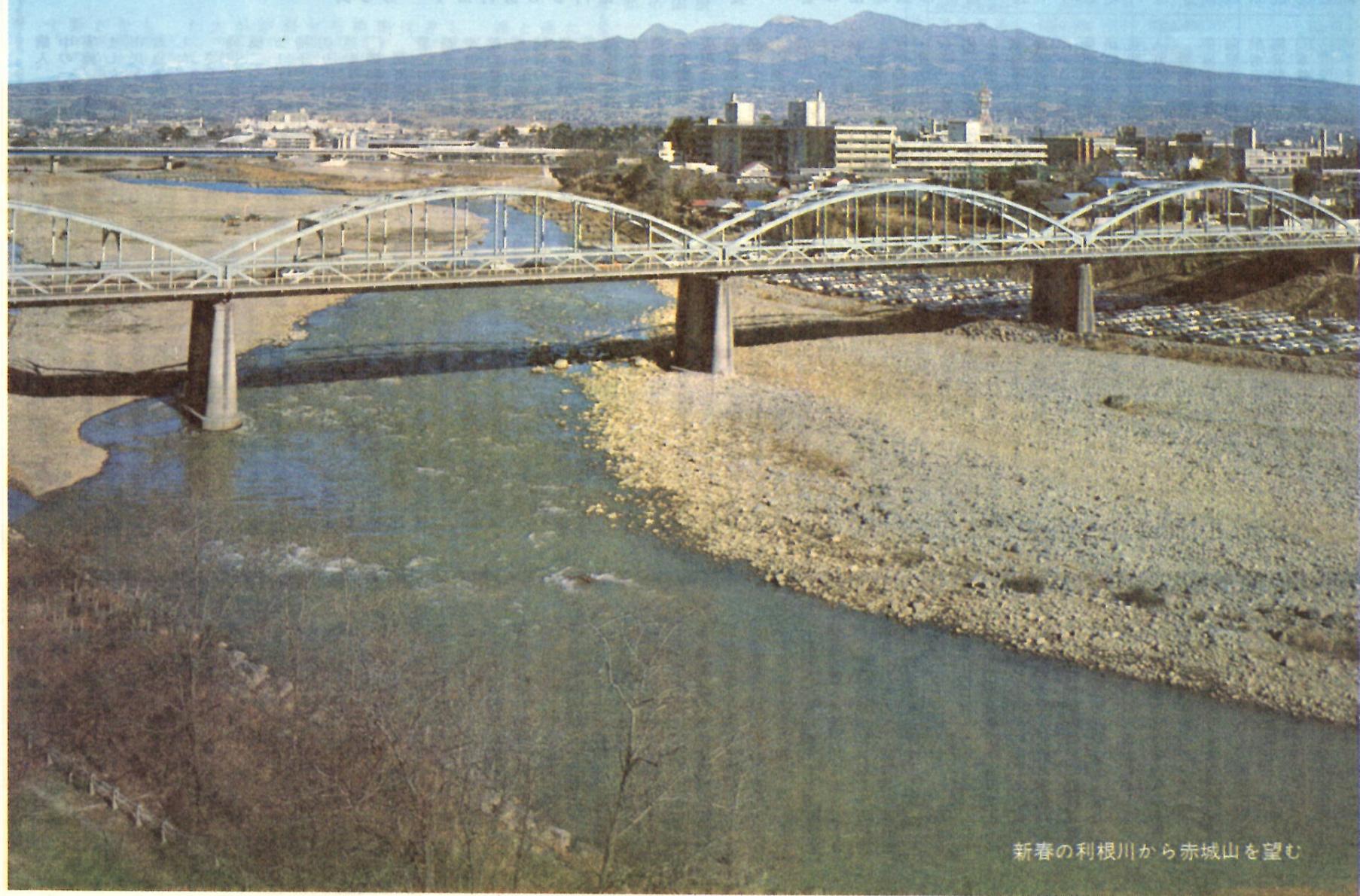
私は資源輸出国は、今後、石油だけではなくすべて、たどえは銅、木材、食糧等まで、輸出機構をつくると思っていましたので、資源輸入国日本の将来を心配しているわけです。大きな転換が日本経済を訪れると思います。

断然な時の市政は、大変困難だと思われますので、四十九年の市政の方針は、標題のようにやってまいりたいと思っています。

面舵は舟を右に向けることで、取舵は舟を左に向けることです。宜候は正しい方向通り舟が向いたという意味で、私が水戸で工兵隊の兵卒の頃覚えた舟頭の言葉です。昭和四年一月より集中水戸の那珂川で三ヶ月ばかり習った舟頭ですが、宜候の精神だけは忘れていません。

大変厄介な時世ですが、充分に社会経済の動き、政治の動向を研究し、前橋市政は総合整備十か年計画で確立した西本の柱を倒すことなく、力強く進めてまいる所存です。市民の皆様と力をあわせて頑張る決意です。

○ として保存しておいてください いつかまた お役にたつことだと思います



新春の利根川から赤城山を望む

〈昭和47年度〉 決算認定中心に

15議案・報告11件を可決承認

12月
定例市議会
報告

昭和四十八年十二月定例市議会は、十二月三日開会され、十九日まで会期十七日間につたって開かれました。この議会は、別名を「決算市議会」とも呼ばれているとおり、四十七年度の各会計決算の認定が中心となりました。三日午後一時からの本会議で、議案上程と提案理由の説明がされ、五日は本会議場で活発な質疑が交わされました。六日は質疑のち、決算関係と人事案件を除き、他の議案を討論、表決し賛成多数で可決しました。ただちに「決算特別委員会」が設置され、七日から十五日まで、各部ごとに詳細な決算審議が行なわれました。最終日の十九日に、この決算特別委員会の審査報告、質疑、討論、一般質問等が行なわれ、人事議案と合わせて表決され、可決承認されました。くわしい内容については、条例施行等のつど広報紙に掲載いたしますが、このページは決算関係を中心にお知らせいたします。



活発な質疑・討論が行なわれた12月定例市議会本会議場

市長の決算説明

●要旨

昭和四十七年度の予算は、過去数年来の好況に支えられた比較的順調な財政環境から一変し、景気予算の執行にあたっては、市民の文化化を基本方針としました。このつとして、公害バトロール車の新設も実現されました。

この結果、最終決算額は歳入で百三十八億四百三十九万円、歳出で三百三十六億八千三百八十一万円となり、いわゆる形式収支で一億二千五十八万の黒字となりました。これを前年度決算と比較すると歳入で二十三億八千八百万円(二〇・九%増)歳出で二十三億三千八百万円(二〇・六%増)の増となっています。

四本の柱の推進

決算内容の主な施策について概略をあげてみますと――

□秩序ある都市づくりの推進

都市の近代化をはかる整備事業として、前年に引き続き施行中の新前橋駅前地区以下四地区的都市改修事業をすすめ、市街地の整備をはかりました。

また、前橋公園遊歩道線以下五街路の整備と、総延長十二万九千九百におよぶ道路舗装、橋りょうの整備につとめ、さらに長い間の懸案であった東部バイパスの立体交差も完成させました。

公園整備事業では、利根川緑地をはじめ、各種公園の整備がすすめられました。市営住宅は広瀬団地にべア住宅八戸を含む百六十戸がつくられ、国領団地の老朽木造住宅の建て替えで五十戸が建設されました。

市民の安全をはかる対策のひとつとして、公害バトロール車の新設も実現されました。

昭和四十七年度の予算は、過去数年来の好況に支えられた比較的順調な財政環境から一変し、景気予算の執行にあたっては、市民の文化化を基本方針としました。このつとして、公害バトロール車の新設も実現されました。

市民が生活をエンジョイできるレクリエーション施設として、市

の停滯と地方税の伸びの鈍化の中で編成されました。このなかで、地方税負担の軽減をはかりながら社会福祉の充実をはじめ、各般の財政需要に対処、あくまでも健全化をはかるとともに、度々の減税政策を行なってきました。市営住宅は広瀬団地にべア住宅八戸を含む百六十戸がつくられ、国領団地の老朽木造住宅の建て替えで五十戸が建設されました。

融資・融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

労働対策では、新たに労金と三倍協調融資による勤労者住宅建設

融対策として、各種の制度融資、設備近代化資金では貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興対策では、年々広域化する商業園に対処するため、商店・商店街の体質改善をはかるとともに、企業診断、商店経営の合理化、共同化、協業化等をすすめてきました。さらに、中小企業の金融融資では、貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

勤労者の福祉、生活向上のための施策を講じています。

市民が生活をエンジョイできるレクリエーション施設として、市

購入、環境騒音、河川水質、大気中の一酸化炭素濃度の測定などを実施、公害防止にも配慮をしてきました。また、頻発する火災から市民を守るために、消防力の増強、救急体制の強化にも意をそそぎました。

さらに、交通安全対策では、交差点信号機十一基の新設、横断歩道橋二つ、道路標識、カーブミラー、ガードレールの設置、身障者が車椅子でも通行できるよう歩道の切り下げを行ない、交通事故防止運動も積極的にすすめました。

□調和のとれた産業の形成

都市化の波と、これに伴う地域産業の構造変化に対応するため、農業地域に対し農業構造改善事業やほ場整備をすすめ、農業生産基礎盤の整備をはかりました。さらに総合的な農業経営の安定化、農業技術の近代化、省力化、農産物の集荷体制の強化、農業経営の資本整備のための制度金融の強化、農業後継者の研修組織の育成などをすすめ、さらに三か年計画で牧野の開発にも着手してきました。

工業開発では、前橋工業団地造成組合と協調して、首都圏都市開発区域の指定都市としての工業開発をすすめてきました。また、中小企業の設備の近代化、経営の合理化、技術向上、企業の協業化をすすめ、中小企業の体質改善をはかりました。

商業振興対策では、年々広域化する商業園に対処するため、商店・商店街の体質改善をはかるとともに、企業診断、商店経営の合理化、共同化、協業化等をすすめてきました。さらに、中小企業の金融融資では、貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

労働対策では、新たに労金と三倍協調融資による勤労者住宅建設

融対策として、各種の制度融資、設備近代化資金では貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

勤労者の福祉、生活向上のための施策を講じています。

市民が生活をエンジョイできるレクリエーション施設として、市

購入、環境騒音、河川水質、大気中の一酸化炭素濃度の測定などを実施、公害防止にも配慮をしてきました。また、頻発する火災から市民を守るために、消防力の増強、救急体制の強化にも意をそそぎました。

さらに、交通安全対策では、交差点信号機十一基の新設、横断歩道橋二つ、道路標識、カーブミラー、ガードレールの設置、身障者が車椅子でも通行できるよう歩道の切り下げを行ない、交通事故防止運動も積極的にすすめました。

□調和のとれた産業の形成

都市化の波と、これに伴う地域産業の構造変化に対応するため、農業地域に対し農業構造改善事業やほ場整備をすすめ、農業生産基礎盤の整備をはかりました。さらに総合的な農業経営の安定化、農業技術の近代化、省力化、農産物の集荷体制の強化、農業経営の資本整備のための制度金融の強化、農業後継者の研修組織の育成などをすすめ、さらに三か年計画で牧野の開発にも着手してきました。

工業開発では、前橋工業団地造成組合と協調して、首都圏都市開発区域の指定都市としての工業開発をすすめてきました。また、中小企業の設備の近代化、経営の合理化、技術向上、企業の協業化をすすめ、中小企業の体質改善をはかりました。

商業振興対策では、年々広域化する商業園に対処するため、商店・商店街の体質改善をはかるとともに、企業診断、商店経営の合理化、共同化、協業化等をすすめてきました。さらに、中小企業の金融融資では、貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

労働対策では、新たに労金と三倍協調融資による勤労者住宅建設

融対策として、各種の制度融資、設備近代化資金では貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

勤労者の福祉、生活向上のための施策を講じています。

市民が生活をエンジョイできるレクリエーション施設として、市

購入、環境騒音、河川水質、大気中の一酸化炭素濃度の測定などを実施、公害防止にも配慮をしてきました。また、頻発する火災から市民を守るために、消防力の増強、救急体制の強化にも意をそそぎました。

さらに、交通安全対策では、交差点信号機十一基の新設、横断歩道橋二つ、道路標識、カーブミラー、ガードレールの設置、身障者が車椅子でも通行できるよう歩道の切り下げを行ない、交通事故防止運動も積極的にすすめました。

□調和のとれた産業の形成

都市化の波と、これに伴う地域産業の構造変化に対応するため、農業地域に対し農業構造改善事業やほ場整備をすすめ、農業生産基礎盤の整備をはかりました。さらに総合的な農業経営の安定化、農業技術の近代化、省力化、農産物の集荷体制の強化、農業経営の資本整備のための制度金融の強化、農業後継者の研修組織の育成などをすすめ、さらに三か年計画で牧野の開発にも着手してきました。

工業開発では、前橋工業団地造成組合と協調して、首都圏都市開発区域の指定都市としての工業開発をすすめてきました。また、中小企業の設備の近代化、経営の合理化、技術向上、企業の協業化をすすめ、中小企業の体質改善をはかりました。

商業振興対策では、年々広域化する商業園に対処するため、商店・商店街の体質改善をはかるとともに、企業診断、商店経営の合理化、共同化、協業化等をすすめてきました。さらに、中小企業の金融融資では、貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

労働対策では、新たに労金と三倍協調融資による勤労者住宅建設

融対策として、各種の制度融資、設備近代化資金では貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

勤労者の福祉、生活向上のための施策を講じています。

市民が生活をエンジョイできるレクリエーション施設として、市

購入、環境騒音、河川水質、大気中の一酸化炭素濃度の測定などを実施、公害防止にも配慮をしてきました。また、頻発する火災から市民を守るために、消防力の増強、救急体制の強化にも意をそそぎました。

さらに、交通安全対策では、交差点信号機十一基の新設、横断歩道橋二つ、道路標識、カーブミラー、ガードレールの設置、身障者が車椅子でも通行できるよう歩道の切り下げを行ない、交通事故防止運動も積極的にすすめました。

□調和のとれた産業の形成

都市化の波と、これに伴う地域産業の構造変化に対応するため、農業地域に対し農業構造改善事業やほ場整備をすすめ、農業生産基礎盤の整備をはかりました。さらに総合的な農業経営の安定化、農業技術の近代化、省力化、農産物の集荷体制の強化、農業経営の資本整備のための制度金融の強化、農業後継者の研修組織の育成などをすすめ、さらに三か年計画で牧野の開発にも着手してきました。

工業開発では、前橋工業団地造成組合と協調して、首都圏都市開発区域の指定都市としての工業開発をすすめてきました。また、中小企業の設備の近代化、経営の合理化、技術向上、企業の協業化をすすめ、中小企業の体質改善をはかりました。

商業振興対策では、年々広域化する商業園に対処するため、商店・商店街の体質改善をはかるとともに、企業診断、商店経営の合理化、共同化、協業化等をすすめてきました。さらに、中小企業の金融融資では、貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

労働対策では、新たに労金と三倍協調融資による勤労者住宅建設

融対策として、各種の制度融資、設備近代化資金では貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

勤労者の福祉、生活向上のための施策を講じています。

市民が生活をエンジョイできるレクリエーション施設として、市

購入、環境騒音、河川水質、大気中の一酸化炭素濃度の測定などを実施、公害防止にも配慮をしてきました。また、頻発する火災から市民を守るために、消防力の増強、救急体制の強化にも意をそそぎました。

さらに、交通安全対策では、交差点信号機十一基の新設、横断歩道橋二つ、道路標識、カーブミラー、ガードレールの設置、身障者が車椅子でも通行できるよう歩道の切り下げを行ない、交通事故防止運動も積極的にすすめました。

□調和のとれた産業の形成

都市化の波と、これに伴う地域産業の構造変化に対応するため、農業地域に対し農業構造改善事業やほ場整備をすすめ、農業生産基礎盤の整備をはかりました。さらに総合的な農業経営の安定化、農業技術の近代化、省力化、農産物の集荷体制の強化、農業経営の資本整備のための制度金融の強化、農業後継者の研修組織の育成などをすすめ、さらに三か年計画で牧野の開発にも着手してきました。

工業開発では、前橋工業団地造成組合と協調して、首都圏都市開発区域の指定都市としての工業開発をすすめてきました。また、中小企業の設備の近代化、経営の合理化、技術向上、企業の協業化をすすめ、中小企業の体質改善をはかりました。

商業振興対策では、年々広域化する商業園に対処するため、商店・商店街の体質改善をはかるとともに、企業診断、商店経営の合理化、共同化、協業化等をすすめてきました。さらに、中小企業の金融融資では、貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

労働対策では、新たに労金と三倍協調融資による勤労者住宅建設

融対策として、各種の制度融資、設備近代化資金では貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

勤労者の福祉、生活向上のための施策を講じています。

市民が生活をエンジョイできるレクリエーション施設として、市

購入、環境騒音、河川水質、大気中の一酸化炭素濃度の測定などを実施、公害防止にも配慮をしてきました。また、頻発する火災から市民を守るために、消防力の増強、救急体制の強化にも意をそそぎました。

さらに、交通安全対策では、交差点信号機十一基の新設、横断歩道橋二つ、道路標識、カーブミラー、ガードレールの設置、身障者が車椅子でも通行できるよう歩道の切り下げを行ない、交通事故防止運動も積極的にすすめました。

□調和のとれた産業の形成

都市化の波と、これに伴う地域産業の構造変化に対応するため、農業地域に対し農業構造改善事業やほ場整備をすすめ、農業生産基礎盤の整備をはかりました。さらに総合的な農業経営の安定化、農業技術の近代化、省力化、農産物の集荷体制の強化、農業経営の資本整備のための制度金融の強化、農業後継者の研修組織の育成などをすすめ、さらに三か年計画で牧野の開発にも着手してきました。

工業開発では、前橋工業団地造成組合と協調して、首都圏都市開発区域の指定都市としての工業開発をすすめてきました。また、中小企業の設備の近代化、経営の合理化、技術向上、企業の協業化をすすめ、中小企業の体質改善をはかりました。

商業振興対策では、年々広域化する商業園に対処するため、商店・商店街の体質改善をはかるとともに、企業診断、商店経営の合理化、共同化、協業化等をすすめてきました。さらに、中小企業の金融融資では、貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

労働対策では、新たに労金と三倍協調融資による勤労者住宅建設

融対策として、各種の制度融資、設備近代化資金では貸付限度額を倍額にふやし、さらに新しく中小企業振興融資資金の預託制度をとり入れるなどしています。

【二面からつづく】から、市立幼稚園施設の不足をカバーする私立幼稚園に対する運営費助成も講じてきました。

社会教育活動の面では、成人教育をはじめ、青少年教育の推進、青少年相談活動、公民館活動の推進をはかつてきました。また、老朽化した下川淵公民館の改築、文化財の保護、地域体育の振興にも力をそいできました。

また、市制施行八十周年記念事業の一環として、老朽化した市立図書館を二か年継続事業で建設するための工事に着手しました。

投資的経費は

四七・一二百分の一に

歳出決算総額百三十六億八千三百万円の内容を性質別に区分しますと――

(1)人件費が二十八億三千四百万円(二〇・七%) (2)物件費が七億七千五百万円(五・六%) (3)維持補修費が二億六千八百五十万円(二・〇%) (4)扶助費が十億六千六百五十万円(七・八%) (5)補助費等が七億二千六百万円(五・三%) (6)公債費が五億五百万円(三・一%)

前橋市民の皆さん、あけましておめでとうございます。

いろいろと困難の多いことが予測されるなかにも、皆さんとご一緒に新しい年をお祝いできますことを、心からおよろこび申しあげます。

昨年の二月、皆さんの歴正な審判が下り、新しい市議会が力強い第一歩を踏み出しました。そして三月定例会においては、からずも私が議長の要職につき、その重責を痛感しつつ、微力ながら円滑な議会運営と市政の伸展を期して誠心誠意の努力を傾けてまいりました。

新年所感

おかげさまで、大過なく越年することができます。したことは、ひとえに皆さんのご支援とご協力の賜ものであり、心から感謝いたしました。

謝申しあげる次第であります。



前橋市議会議長 佐藤幸雄

新しい年を迎えて

□ □ □

■監査委員に横田誠治氏 前監査

員本間善太郎氏の任期満了に伴

う後任に、千代田町三丁目二十

五、横田誠治氏(61歳)を選任、

議会の同意を得ました。

■固定資産評価審査委員に伏嶋正

一氏、前委員斎藤多美雄氏の任期

満了に伴う後任に、飯土井町六二

八、伏嶋正一氏(68歳)を選任、

議会の同意を得ました。

エネルギー節約運動を提唱する

一方、便乗車上げ防止など強力

な物価対策を推進しております

が、今しばらくは現在のような

あるいはそれ以上の耐乏生活が

わせをもたらせることができる

か等、地方自治行政の原点に立つて真剣に取り組んでおりま

す。昨冬、各会派をあげて「緊

急物対策特別協議会」を設け

・七%) (7)積立金が四億六百万円(三・〇%) (8)投資及び出資金が九千六百六十万円(〇・七%) (9)貸付金が四億七千八百万円(三・五%) (10)繰出金が六千六百万円(〇・五%) (11)投資的経費が六十四億六千万円(四七・一%)となっています。

最も大きいのが投資的経費で四七・一%、次が人件費で二〇・七%、このふたつで歳出総額の六七・九%を占めています。

特に、投資的経費が最も高い理由としては、道路、下水道、住宅など、市民生活に直結する生活関連施設の整備をはじめとする都市の近代化促進のための投資を積極的にすすめた結果です。

一方、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)は、前年度を〇・八%上回り、三二・二%になります。しかし、これは全国の都市の平均からくらべると、人件費で二・六%、物件費・扶助費で一・六%、物件費・扶助費等で〇・一%、公債費で一・四%低く、逆に維持修繕費で〇・四%、投資的経費で八・

福祉行政を基調に

生きがいと希望ある市政―めざす

昨今の厳しい財政環境のなかで

投資的経費が高くなっています。今後成長と福祉のギヤップを解消するための福祉行政のすすめの調和のなかで、立ち遅れない

方には、かなり多難なものがあります。

このような経済、社会の危機

を乗り切るために、国では総需要抑制策を打ち出すとともに、官公署をはじめ産業界から一般家庭へも経済、産業活動に大きなダメージを受け、市民生活におい

ます。

昨年初冬、中東戦争に端を発した石油バニックにより、わが国も経済、産業活動に大きなダメージを受け、市民生活におい

ます。

この市民生活への重大な危機

に直面して、私ども市政の一翼をになう者としては、市民生活をどうぞもり、そしてどうあ

ります。

この市民生活への重大な危機

に直面して、私ども市政の一翼をになう者としては、市民生活をどうぞもり、そしてどうあ

ります。

この市民生活への重大な危機

に直面して、私ども市政の一翼をになう者としては、市民生活をどうぞもり、そしてどうあ

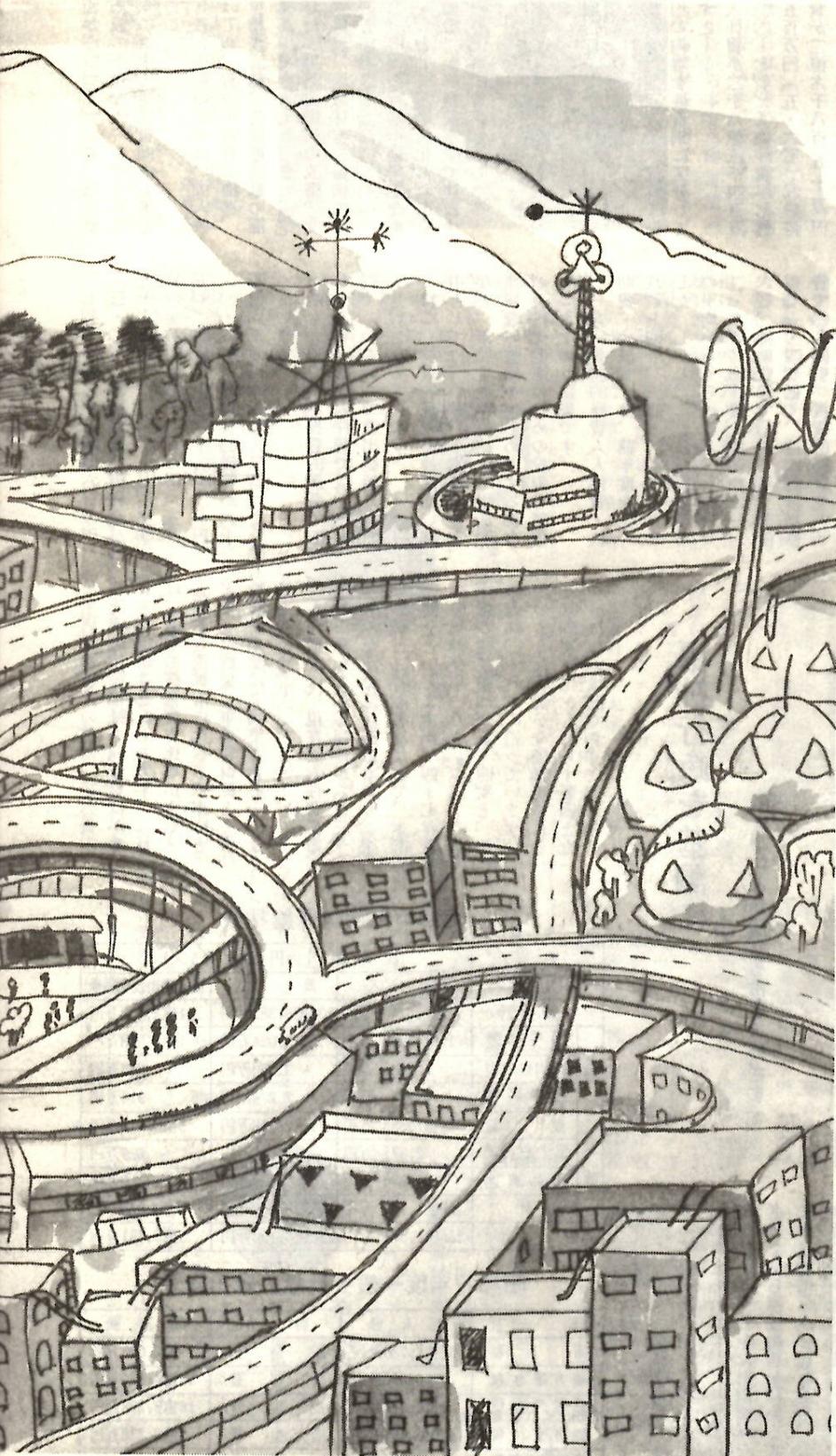
昭和47年度決算総括表

会計別	決算額(1万円未満4捨5入)		
	歳入	歳出	歳入歳差引残額
一般会計	138億0,440万円	136億8,382万円	1億2,058万円
国保	17億4,652万円	16億3,024万円	1億1,628万円
食肉処理場	2,485万円	2,230万円	255万円
中央児童園	3,188万円	2,274万円	914万円
競輪	74億7,553万円	71億7,338万円	3億0,216万円
中小企業貸付	2,371万円	2,062万円	309万円
用品調達	5億0,880万円	5億0,880万円	0万円
合 計	98億1,131万円	93億7,809万円	4億3,323万円
合 計	236億1,571万円	230億6,190万円	5億5,381万円

昭和47年度一般会計歳入歳出算

科 目	歳 入 額	科 目	歳 出 額
市 税	50億4,738万円	議 会 費	1億2,006万円
地 方 譲 与 税	6,652万円	総 務 費	16億6,630万円
自 動 車 取 得 金	1億0,646万円	民 生 費	16億8,238万円
地 方 交 付 税	13億0,096万円	衛 生 費	5億6,238万円
交 通 安 全 対 策 金	3,043万円	労 動 費	2億7,868万円
分 扱 金 及 び 金 担	1億2,603万円	農 林 水 産 業 費	6億0,477万円
手 数 料 及 び 料 用	2億4,223万円	商 工 費	5億9,780万円
国 库 支 出 金	19億7,590万円	土 木 費	36億4,137万円
県 支 出 金	4億0,808万円	消 防 費	3億2,253万円
財 産 取 入	6億7,212万円	教 育 費	28億0,952万円
寄 附 金	4,708万円	公 政 借 金	5億0,579万円
縁 金	6億1,078万円	諸 支 出 金	8億9,223万円
縁 金	4,250万円	予 備 費	0万円
諸 取 入	18億7,692万円		
市 債	12億5,100万円		
歳 入 合 計	138億0,440万円	歳 出 合 計	136億8,382万円

【二面からつづく】要する費用は四百五十万円が見込まれます。(1)前橋市教育職員の退職年金及び退職一時金に関する条例の改正(国の恩給法の改正に準じ、年金条例を改正したもの)(2)工事請負契約の締結について(敷島小学校の改築工事に関するもの。鉄筋コンクリート三階建、延べ一、五一平方メートル、工費七千四百十万元) (3)工事請負契約の締結について(荒砥中学校の改築工事に関するもの。鉄筋コンクリート四階建て、延べ一、六一四平方メートル、工費八千七百八十万円) (4)工事請負契約の締結について(荒砥中学校の改築工事に関するもの。鉄筋コンクリート四階建て、延べ一、五九平方メートル、工費七千四百十万元) (5)工事請負契約の締結について(荒砥中学校の改築工事に関するもの。鉄筋コンクリート四階建て、延べ一、五九平方メートル、工費七千四百十万元) (6)工事請負契約の締結について(荒砥中学校の改築工事に関するもの。鉄筋コンクリート四階建て、延べ一、五九平方メートル、工費七千四百十万元) (7)工事請負契約の締結について(荒砥中学校の改築工事に関するもの。鉄筋コンクリート四階建て、延べ一、五九平方メートル、工費七千四百十万元) (8)工事請負契約の締結について(荒砥中学校の改築工事に関するもの。鉄筋コンクリート四階建て、延べ一、五九平方メートル、工費七千四百十万元) (9)工事請負契約の締結について(荒砥中学校の改築工事に関するもの。鉄筋コンクリート四階建て、延べ一、五九平方メートル、工費七千四百十万元) (10)工事請負契約の締結について(荒砥中学校の改築工事に関するもの。鉄筋コンクリート四階建て、延べ一、五九平方メートル、工費七千四百十万元) (11)工事請負契約の締結について(荒砥中学校の改築工事に関するもの。鉄筋コンクリート四階建て、延べ一、五九平方メートル、工費七千四百十万元) (12)工事請負契約の締結について(荒砥中学校の改築工事に関するもの。鉄筋コンクリート四階建て、延べ一、五九平方メートル、工費七千四百十万元) (13)工事請負契約の締結について(荒砥中学校の改築工事に関するもの。鉄筋コンクリート四階建て、延べ一、五九平方メートル、工費七千四百十万元) (14)監査委員(知識経験)の選任について(別記) (15)固定資産評価審査委員の選任について(別記) (16)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (17)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (18)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (19)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (20)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (21)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (22)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (23)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (24)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (25)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (26)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (27)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (28)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (29)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (30)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (31)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (32)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (33)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (34)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (35)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (36)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (37)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (38)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (39)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (40)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (41)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (42)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (43)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (44)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (45)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (46)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (47)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (48)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (49)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (50)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (51)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (52)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (53)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (54)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (55)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (56)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (57)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (58)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (59)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (60)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (61)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (62)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (63)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (64)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (65)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (66)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (67)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (68)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (69)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (70)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (71)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (72)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (73)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (74)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (75)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (76)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (77)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (78)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (79)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (80)年金条例の改正による年金条例の選任について(別記) (81)年金



前橋の未来図

人間の夢には限りがない、ひと昔まえには、人類が月へ行けるなどということは全く想像もできなかつた。ところが、今ではそれが夢でなく、現実のこととなつた。わたしたちが住んでいる前橋によせる夢もまた、果てしない。昭和四十九年の新春にあたつて、子どもたちの眼を通して、こうなつてほしい前橋、その夢を「未来図」としてえがいてもらつた。公害のない前橋、緑いっぱい、草花の咲きみだれる前橋、学園都市前橋、太陽の光がいっぱい、自然のままの前橋……。わたしたちも、それぞれの「未来図」を胸にえがきながら、その実現をめざして、新しい年的第一歩を踏み出そう——。

未来の前橋

中央小学校六年

いたるところに

荒砥中学校一年

中心街を走る自動車は全部電気化され、自動車と歩行者の専用道路にわかれている。公害のない、こんな前橋は最高だ。

いたるところに
自然公園

荒砥中学校一年
主代 秀幸

ぼくの想像した未来の前橋は、
こんな町である。

ほくのえがく未来の前橋、それは、まず地下道が発達し、車は全部地下を走る。地上には歩行者天國がある。道の中央は、草花の咲き乱れる公園。うとうとと寝覚をしている人もいれば、将棋をしている人もいて、とてもものどかだ。両端には年寄りのために勧め歩道があり、その上に自転車専用道路がある。こうすると、せまい土地を有効に使えるし、交通事故を防ぐこともできる。

一日楽しく過ごせる。また、少し離れて博物館や美術館・図書館などが立ち並び静かに休日を過ごすことができる。

そして、この美しい前橋をよぎらないように、みんなが道徳を守る。おとなはたばこのすいがらは必ずすいがら入れに入れ、子どもはジユースをのんだりこみまくこ



ふがしきつめられ、三階建ての体育馆がある。東の方の広い市場は車道と歩道にわかれていて、交通事故もなく、早く物を運ぶことができ、市場で働く人も大だすかりだ。

のサイクリングコースは、渋川や伊勢崎まで行ける。また、ピクニックをする人や、川で魚つりを楽しむ人たちでに

ぎわう。土手には色とりどりの花がさき、日曜の一日を家族みんなで楽しめるゆめの楽園だ。

産業人スポーツセンターには、大きな温水プールとローラースケート場ができ、冬でもみんなが自由に運動ができる。

白は遊園ができる
となりの遊園地には、めずらし
い乗り物がたくさんあり、子ども
もおとなも、いっしょに乗れる。
池には白鳥が泳ぎ、ふん水がおど
る。

中心街を走る自動車は全部電気化され、自動車と歩行者の専用道路にわかれてる。公害のない、こんな前橋は最高だ。

いたるところに

自然公園
荒砥中學校一年

主代秀幸

前橋のいたるところには自然公園があり、子どもたちが伸びのびと遊んでやる。

と遊んでいる。

ひたい。それに、火事や地震から人命を守り、電波妨害や日照権問題がおこらな、ようござ。

道路は自転車、歩行者とも専用道路があり、安全である。それに

自動車は電気製なので、大気は汚れない。歩道橋も、年寄りでも気

安く外出できる
ように、エスカ

だ。 レーターに変身

前橋西部には
利根川流水を利

この絵をかいた
桃川小の仲良し
グループ



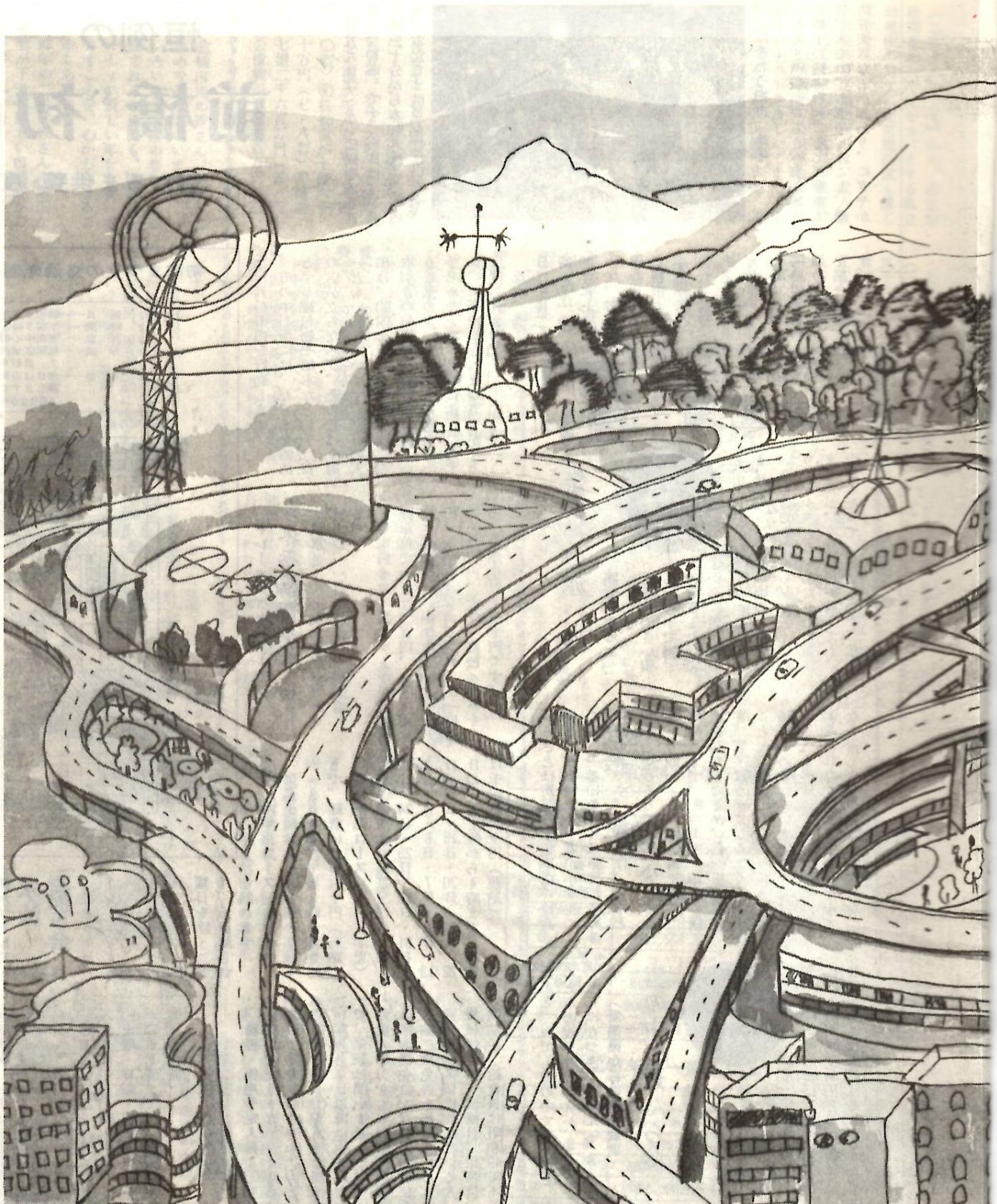
この絵は、桃川小学校の六年生の稻葉直美・金沢由美子・浦野順子・中川栄子・小林尚子・船津典子さんたち六人の共同制作によるものです。前橋の百年後の未来園ーというイメージで、みんなで知恵を出し合って書いたそうです。稻葉さんは、この絵について、次のように語っています。

の中は、住みよい姿にどんどんかわっていきます。

赤城の南に立っている六つの塔は、原子塔といって、からつ風発電をしたり、大気をきれいにしたりします。この塔から発する原子波は、前橋の町に屋根をかけることもできます。台風の被害から守ったり、寒波を防いだりします。また、第二の太陽として役に立ちます。

家庭ガスにかかる穴です。ビルやデパートの火災のとき、どのビルからも道へ出られるようになってるので、避難ができます。

北部にあるエアバス着陸所は、防音壁にかこまれていますので、うるさくありません。大きな飛行機は、無重力によって上昇していきます。市街の地上では、人や自転車が自由に動けるようになつてますので、交通事故はありません。



學園都市前橋

川端美千代

わたしたちの住む「県都前橋」

利根の流れを擁した、美しい水の都です。

しかし、わたしたちの社会生活

しかし、わたしたちの社会生活は、繁栄の代償として、多くの犠牲をいられつつ、今後も幸・不幸の間をさまざまに繰り返さなければならぬと思います。

大学や研究所などが、赤城山多くの緑の傾斜地に整然とそびえ立っている姿。そして、駅前から絶え間なくモノレールが走り、全国の学生がこの地へ集まつて、緑の広い芝生の上で、読書やスポーツを楽しむのです。

そして、現在の市街地は、市民と学生の生活が調和されるようになるのです。

広瀬川畔に遊園地、利根の河川敷のグランド、本屋を中心とする商店街など、落ち着いた、しかも健康的な街にするのです。

前橋市の未来を考えぐると、わたしの心は自然に豊かになり、将来が希望で満ちてくるのです。

わたしの設計図

桃瀨小学校五年

植松
尚

んでいる西片貞明

かに桃瀬小学校が

ている。まだ、で

てのきれいな校舎

りには、今は何も

縁が美しくしげり

遠くからでもよく見える。
しかし、十年後はどうだろう。

て生まれたのです。
みなさんの創造したこの町を受け継ぐのも、ぼくたちです。ぼくたちにも責任感はあります。
だから、夢物語よりも、ほんとうの意味での、ぼくたちのための都市づくりをねがうのも、当然でしょう。その意味で、高度成長よりとて、『わたしたちの都市』と周囲に誇れる計画を期待していくとして、それを誇りに思いま
す。

A circular portrait of a man with dark hair, wearing a dark suit jacket over a white shirt and a dark tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

捨て、こみが落ちたら、誰でも拾う。町のすみすみまで清潔で、広瀬川はすんだ流れをとり戻し魚がヨロヨロ泳いでいる。そんな前橋をぼくたちの手でくりたい。

このモーレツな電力も、上州の物のからつ風を利用しておこすで、心配無用。



にぎわう初市（昨年）
だるま供養が終ると、御神輿と
大獅子の渡御行列、そして華竜太
鼓、木やり、お囃子、みこし、消
防音楽隊などが加わり、にぎやか

す。
ふるさとの
正月



祭の神の赤い火

高波 タミエ

ふるさとは新潟県中頃郡の妙高
村という山村です。私が小学生の
ころ、一番印象強く残っているの
は祭の神です。前橋では、どんど
焼き、というそうですが、まわりを
むると、今でも雪の中で赤く燃え
るどんどん焼きの赤い火が、まるた
れ、通行人とインター
列のようす
る初市の生
中継が行な
われ、通行
人と一緒に
テレビによ
る

正月は午後二時から一時半にわた
って、群馬

冬季講習会ひらく

トレーニングセンターで

な行列が市内を行進します。

市の中心街には、だるまを始め

とする縁起物や植木など約千二百

の店が立ちならび、その数は全国

ともいわれています。初市の人

出は、約四十万人と見込まれ、初

取引きの何百万両、何千両とい

う景気のよいかげ声と威勢のいい

手じめなどで、初春にふさわし

いにぎやかな“まつり”がくり

あげられます。

なお、当

日は午後二時から一時半にわた
って、群馬

冬季講習会ひらく

トレーニングセン

ターで

な行列が市内を行進します。

市の中心街には、だるまを始め

とする縁起物や植木など約千二百

の店が立ちならび、その数は全国

ともいわれています。初市の人

出は、約四十万人と見込まれ、初

取引きの何百万両、何千両とい

う景気のよいかげ声と威勢のいい

手じめなどで、初春にふさわし

いにぎやかな“まつり”がくり

あげられます。

なお、当

日は午後二時から一時半にわた
って、群馬

冬季講習会ひらく

トレーニングセン

ターで

な行列が市内を行進します。

市の中心街には、だるまを始め

とする縁起物や植木など約千二百

の店が立ちならび、その数は全国

ともいわれています。初市の人

出は、約四十万人と見込まれ、初

取引きの何百万両、何千両とい

う景気のよいかげ声と威勢のいい

手じめなどで、初春にふさわし

いにぎやかな“まつり”がくり

あげられます。

なお、当

日は午後二時から一時半にわた
って、群馬

冬季講習会ひらく

トレーニングセン

ターで

な行列が市内を行進します。

市の中心街には、だるまを始め

とする縁起物や植木など約千二百

の店が立ちならび、その数は全国

ともいわれています。初市の人

出は、約四十万人と見込まれ、初

取引きの何百万両、何千両とい

う景気のよいかげ声と威勢のいい

手じめなどで、初春にふさわし

いにぎやかな“まつり”がくり

あげられます。

なお、当

日は午後二時から一時半にわた
って、群馬

冬季講習会ひらく

トレーニングセン

ターで

な行列が市内を行進します。

市の中心街には、だるまを始め

とする縁起物や植木など約千二百

の店が立ちならび、その数は全国

ともいわれています。初市の人

出は、約四十万人と見込まれ、初

取引きの何百万両、何千両とい

う景気のよいかげ声と威勢のいい

手じめなどで、初春にふさわし

いにぎやかな“まつり”がくり

あげられます。

なお、当

日は午後二時から一時半にわた
って、群馬

冬季講習会ひらく

トレーニングセン

ターで

な行列が市内を行進します。

市の中心街には、だるまを始め

とする縁起物や植木など約千二百

の店が立ちならび、その数は全国

ともいわれています。初市の人

出は、約四十万人と見込まれ、初

取引きの何百万両、何千両とい

う景気のよいかげ声と威勢のいい

手じめなどで、初春にふさわし

いにぎやかな“まつり”がくり

あげられます。

なお、当

日は午後二時から一時半にわた
って、群馬

冬季講習会ひらく

トレーニングセン

ターで

な行列が市内を行進します。

市の中心街には、だるまを始め

とする縁起物や植木など約千二百

の店が立ちならび、その数は全国

ともいわれています。初市の人

出は、約四十万人と見込まれ、初

取引きの何百万両、何千両とい

う景気のよいかげ声と威勢のいい

手じめなどで、初春にふさわし

いにぎやかな“まつり”がくり

あげられます。

なお、当

日は午後二時から一時半にわた
って、群馬

冬季講習会ひらく

トレーニングセン

ターで

な行列が市内を行進します。

市の中心街には、だるまを始め

とする縁起物や植木など約千二百

の店が立ちならび、その数は全国

ともいわれています。初市の人

出は、約四十万人と見込まれ、初

取引きの何百万両、何千両とい

う景気のよいかげ声と威勢のいい

手じめなどで、初春にふさわし

いにぎやかな“まつり”がくり

あげられます。

なお、当

日は午後二時から一時半にわた
って、群馬

冬季講習会ひらく

トレーニングセン

ターで

な行列が市内を行進します。

市の中心街には、だるまを始め

とする縁起物や植木など約千二百

の店が立ちならび、その数は全国

ともいわれています。初市の人

出は、約四十万人と見込まれ、初

取引きの何百万両、何千両とい

う景気のよいかげ声と威勢のいい

手じめなどで、初春にふさわし

いにぎやかな“まつり”がくり

あげられます。

なお、当

日は午後二時から一時半にわた
って、群馬

冬季講習会ひらく

トレーニングセン

ターで

な行列が市内を行進します。

市の中心街には、だるまを始め

とする縁起物や植木など約千二百

の店が立ちならび、その数は全国

ともいわれています。初市の人

出は、約四十万人と見込まれ、初

取引きの何百万両、何千両とい

う景気のよいかげ声と威勢のいい

手じめなどで、初春にふさわし

いにぎやかな“まつり”がくり

あげられます。

住宅用地の申告
1月31日までに必ず前橋市内に法人・個人を問わず宅地等を持ってる人で、昭和四十年中に次に該当する場合は、「住宅用地に関する申告」を、一月三十日までに市長に申告する必要があります。該当者は必ず期限までに申告を……。
①宅地等(農地を除く)を取得した場合。(②住宅を新築・増築した場合。(③農地を宅地に転用した場合。)
申告場所は……市役所資産税課
土地係(電話24局一一一内線二二八)へ。申告用紙も同様に用意してあります。くわしい問い合わせも同課へ。

●母子健康相談
1月8日(火)芳賀、桂萱、永
各会場とも十二時半から一時十
●母子健

現金百万円 城東町一丁目七一
二十二、井上鬼子松さんから老人福祉事業にと。
現金百万円 昭和町三丁目、平方ゲンさんから市へ。
現金一万三千九十八円 前橋市立女子高校二年一組から、文化祭の際に市民のかたがたから寄せられたお金希望館へと。
中古背広上下二着 天川原町一〇四一、大沢賢司さんから
錦鯉二十三尾、真鯉六尾 下沖一七、倉橋うめ子さんから敷島公園へ。
上新田町地内公園施設 本町二丁目十三一十二、群馬土地株式会社(北爪善之助社長)から市へ。
カラーテレビ一台・電気冷蔵庫一台 前橋ロータリークラブから心身障害者福祉施設「たんぽぽ学園」へ。

●住宅用地の申告
1月31日までに必ず前橋市内に法人・個人を問わず宅地等を持ってる人で、昭和四十年中に次に該当する場合は、「住宅用地に関する申告」を、一月三十日までに市長に申告する必要があります。該当者は必ず期限までに申告を……。
①宅地等(農地を除く)を取得した場合。(②住宅を新築・増築した場合。(③農地を宅地に転用した場合。)
申告場所は……市役所資産税課
土地係(電話24局一一一内線二二八)へ。申告用紙も同様に用意してあります。くわしい問い合わせも同課へ。



痛くないよ、忘れずに受けたね(予防接種会場で)

児童生徒作品展示即売会

会場は煥乎堂ホール

第2週金曜日(9時~11時)一

1月10日(木)24日(木)午後

か月~4ヶ月児 第3週金曜日

(9時~11時)五か月~八か月

男の第4週金曜日(9時~11時)

一年未満児(午後1時~3時)特

別相談。

△不況対策▽

市で中小企業経営特別相談室を設置

1月5日、12日、19日、26日の各土曜日、午前9時から正午。前橋保健所(電話31局七七二二)精神衛生係が担当。眠れない、ライラクするなどの人はどうぞ。

●電話による精神衛生相談
1月18日(金)桂萱公民館。
●婦人科(子宮)ガン検診
1月17日(木)元総社公民館。
●医師会育児相談
1月24日(木)中央公民館。

は、吉方に向ってめでたい詩歌などを書いて、筆はじめを試したところ。一家そろって思い思ひの言葉を筆に託すのも楽しいことである。そこで今回は朔太郎の書について考えてみることにしよう。

文学者はことあるごとに、色紙や短冊に書を残した。自らの気分のままに書くこともあつたろう。また、人に求められるままに書くこともあつたろう。最近では文学者の書や絵は、作品とは別に、或いは作品をより理解する意味でも、研究者に興味を持たれている。書にあらわれた言葉、書にこもられた筆跡、それらも又、文学者の精神の所産である。今日現存する数多くの朔太郎書の中から、生前好んで書いたものをいくつか紹介する所がある。

●「新年」と朔太郎の書
「一年の計は元旦にあり」という古い言葉がある。

う古い言葉がある。「一年の計は元旦にあり」とい

う古い言葉がある。それは未来、期待、願望、出発といったものの中にはじまる。松節。しめなわ。だいたい目に触れるものすべてが明るく、陽の光、空氣ですら新しく感じるのだ。人はみな新しい年にいろいろな感慨をもつだらう。萩原朔太郎は、数え年四十七歳の新年を迎えて次のように記した。

「新年來り、新年去り、地球は一度廻転すれば、宇宙は新しきものがあることなし。年々歳々、我れは昨日の悔恨を繰返して、しかも自ら悔恨せず。よし人生は過失なるも、我が欲情するものは過失に非ず。いかんぞ一切を弾劾するも、昨日の悔恨を悔恨せん。新年來り百度過失を新たにするも、我れは尚悲壯に耐え、決して、決して、悔るざるべし、昭和七年一月一日。これを新しき日記に書す。」

この一文は「新年」という詩に付したものである。朔太郎の決意であり、人生に対する哲学であり、詩学であろう。宮本武蔵の「五輪の書」にある「我、ものにおいて後悔せざ」という言葉を想起する。

新しき年とは、まさに人生そのものであつて、古今東西、忘れぬ言葉がある。一休和尚の有名な歌「門松は冥土の旅の一里塚、めでたくもありめでたくもなし」は皮肉であり、また眞実でもある。新年の行事には昔からいろいろのものがある。そのひとつに書には、古来、正月二日に

書に私達は何を感じるだろう。

書は人を語るという。朔太郎の

初めがある。

書に私達は何を感じるだろう。

書は人を語るという。朔太郎の

初めがある。

書は人を語るという。朔太郎の